



三鷹市公会堂

## 今号の紙面から

- 2 年末のごみの収集日程
- 3 高齢者向け職業紹介
- 4・5 平成14年度決算の概要と15年度上半期の財政状況
- 8 平成16年度保育園入園児の募集
- 9 市民協働センターがオープン
- 10 住宅バリアフリー改修助成制度受付中
- 11 美術ギャラリー企画展「あるギャラリーマンコレクションの軌跡」

**三鷹市広報番組**  
**みる・みる・三鷹**

武蔵野三鷹ケーブルテレビ5CH  
1日4回放送9:30/14:30/19:30/23:30

●第179回(12月7日~20日放送)  
市職員による「安全安心パトロール」  
開始/「市民協働センター」オープン/姉妹市町交流芸能大会

三鷹市市政情報番組  
**おはよう!三鷹市です**  
FMむさしの78.2MHz  
月~金曜日10:20~25放送



三鷹市内の主な犯罪の状況(三鷹警察署資料)

|             | 空き巣狙い | 車上狙い  | ひったくり  | 自販機荒し  |
|-------------|-------|-------|--------|--------|
| 平成14年1月~10月 | 240   | 189   | 60     | 64     |
| 平成15年1月~10月 | 219   | 173   | 40     | 92     |
| 前年比(件数)     | -21   | -16   | -20    | +28    |
| 前年比(率)      | -8.8% | -8.5% | -33.3% | +43.8% |

◆三鷹市内における空き巣被害の特徴  
・事前に泥棒に入る家を見し、日中、人がいない時を見計らって侵入します。  
・犯人の特徴は、スーツ姿や作業服姿で、一見どこにでもいる格好をしています。

◆今後の「協働体制」づくり  
町会・自治会、青少年、PTA、防犯協会など、すでに自主的な防犯活動やパトロールを実施している市民団体については、その主体性を尊重しながら連携を進めます。さらに、市民ボラ

①巡回中に犯罪発生現場を自撃するなど、緊急時には110番通報します。  
②緊急性は低いものの、対策が必要な危険箇所を発見した場合には、市・学校などの関係機関に連絡します。  
※パトロールは犯罪の発生を未然に防ぐためのもので、犯罪捜査や取り締まりを行うものではありません。

◆安全安心パトロール  
市内出張する機会が多い職員を中心に、腕章をつけ、「安全安心パトロール」のステッカーやボディパネルを掲示した自転車や公用車で市内を巡回し、次の活動を行います。

近年、国内の犯罪は、発生件数の増加だけでなく、組織化、凶悪化の一途をたどっています。三鷹市内では、警察などの努力や関係者の協力のおかげで発生件数は昨年同様に減

定、「生活安全推進協議会」を設置し、現在は「生活安全に関するガイドライン」(仮称)策定の研究、市内公共施設の安全点検や警察と連携した犯罪発生などに関する情報提供など、防犯に関するさまざまな取り組みを進めていきますが、このたび市職員による「安全安心パトロール」を開始し、取り組みを一層強化していきます。

三鷹駅前商店街で10月、強盗殺人事件が発生するなど、最近、わたしたちの暮らしを脅かす凶悪事件が増加しています。市では緊急安全対策として、犯罪の発生を未然に防ぐことを狙いに、12月8日(月)から市職員による「安全安心パトロール」を開始します。

## 「安全で安心なまち三鷹」を目指して 市職員による「安全安心パトロール」 12月8日(月)から開始

## 三鷹市長メールマガジンの購読者を募集中!

12月7日(日)に創刊号を発行

市では、市政をより身近に感じ、三鷹市に親しむを持っていただくために、メールマガジンを創刊しました。ここでしか読めない清原慶子市長の書き下ろしコラムや、欲しい情報だけを登録して手にできるジャンル別の新着情報をメールでお届けします。ぜひ、ご利用ください。

発行は毎月第1・3日曜日。三鷹市ホームページから登録してください。

### 携帯電話用メールマガジンも発行します

パソコンと同様に、市政に関する市長からのメッセージを、平成16年元旦号から携帯電話用メールマガジンとして発行します。登録はメールマガジン新規登録ページ URL: http://regist02.smp.ne.jp/m/r/mtkから、またはmtk@req.jpへ空メールを送信して登録してください。

⇒市長室 ☎内線2010

◆報告書の内容は、三鷹市がこれまで進めてきた「市民参加や市民との協働によるまちづくり」を「三鷹市の憲法」ともいえる自治基本条例の基盤に据え、ともに、新たな自治の仕組みや運営に関することとして、合併など市の重要事項については必ず住民投票に諮ること、その住民投票には18歳以上や外国籍の市民も参加できることや、協働のまちづくりを推進するための「パートナーシップ協定」の締結など、多様な提案が盛り込まれています。

市では今後、この報告書を受けて条例案の作成に取り組みますが、来月にはフォーラムを開催するなど、くわし

◆意見・感想をお寄せください  
自治基本条例についての意見、感想を、ぜひお寄せください。

◆企画経営室 ☎内線2150・2151・FAX 48-1419・Eメール: kak@city.mitaka.tokyo.jp

## 自治基本条例の制定を目指して まちづくり研究所第2分科会の 報告書が提出されました

11月16日発行の「広報みたか」でお知らせしたとおり、自治基本条例のあり方を検討していた「まちづくり研究所第2分科会」より、清原市長に報告書が提出されました。

報告書の内容は、くわしくは2面をご覧ください。

◆報告書の内容など、くわしくは2面をご覧ください。

報告書全文は三鷹市ホームページに掲載しているほか、市政資料室(市役所2階)で配布し、図書館、市政窓口、各コミュニティセンターで閲覧できます。別にお取り寄せを希望する方は企画経営室へご連絡ください。

◆報告書の内容など、くわしくは2面をご覧ください。

折しも12月9日は「障害者の日」、12月10日は「人権デー」とされています。日本では12月4日から10日が人権週間とされています。市民の皆さんがそれぞれの人権を尊重し合い、敬意を払い合って、それぞれの自己実現を目指しましょう。そんな三鷹にしていきたいま

11月22日、「三鷹市障害者地域自立生活支援センター」の開所式が開かれました。これは、障害のある人が住みながら地域で自立した生活を営むことを支援する施設であり、車椅子を使用している障害当事者を含む会員によって構成されているNPO法人「障害者生活支援センターインみたか」に運営をお願いすることになりました。

当日、代表の宮城さんは、シックなスーツに身を包み、いつもより少し紅潮して、運営に向けての決意を力強く語ってくれました。私にとっては、初めてのネクタイ姿の南雲さんも、晴れやかな笑顔で参加者を迎えてくれました。自立生活の内容が就労である人もいれば、家族とはなれてひとり生活することである人もいます。まずは一人でも外出できることが目標である人もいます。必要なのは、障害者の実情を聞き、それに合わせた助言や支援がなされることです。障害者として自立するために取り組んできた当事者や、その取り組みの近くにいる人が自立支援を担うことに意味があると思います。そして、障害者が支援の受け手ではなく担い手になる機会として、この事業が生かされる可能性を信じています。

11月22日、「三鷹市障害者地域自立生活支援センター」の開所式が開かれました。これは、障害のある人が住みながら地域で自立した生活を営むことを支援する施設であり、車椅子を使用している障害当事者を含む会員によって構成されているNPO法人「障害者生活支援センターインみたか」に運営をお願いすることになりました。

◆報告書の内容など、くわしくは2面をご覧ください。

**人権尊重と自己実現**

11月22日、「三鷹市障害者地域自立生活支援センター」の開所式が開かれました。これは、障害のある人が住みながら地域で自立した生活を営むことを支援する施設であり、車椅子を使用している障害当事者を含む会員によって構成されているNPO法人「障害者生活支援センターインみたか」に運営をお願いすることになりました。

三鷹市長 清原 慶子